

子ども虐待への視点

「何が違って、何が変わっていないか」

～2000年児童虐待防止法制定以前の取り組みと現在～

児童虐待防止法制定以前の子ども虐待への取り組みを振り返りながら、2000年の法施行から現在までの状況も含め、何が違って何が変わっていないかを考えます。そのことによって、現場で働く専門職の子ども権利擁護活動にとって新たな視点が広がることを期待されています。県民の皆さんも交えて、一緒に考えてみましょう。

日時・会場

2024年2月4日(日)
午後1時30分～午後3時00分
東大宮コミュニティセンター ホール
(JR宇都宮線「東大宮駅」西口徒歩
3分)

参加費無料

参加対象者

県民の方、児童虐待・子どもの権利擁護・子ども支援に関心がある専門職
(先着200名)

対談

講師

奥山 眞紀子 氏

埼玉子どもを虐待から守る会理事(前会長)、日本子ども虐待防止学会理事(前理事長)、前国立成育医療研究センターこころの診療部統括部長

青木 孝志 氏

前埼玉県社会福祉士会会長、元埼玉県中央児童相談所長

進行

栗原 直樹

日本社会福祉士会理事、元埼玉県所沢児童相談所長

主催 公益社団法人埼玉県社会福祉士会 公開研修委員会
共催 特定非営利活動法人埼玉子どもを虐待から守る会
後援 埼玉県(予定)
内容 対談約80分、質疑応答約10分等
申込方法 以下のURLまたは右のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/WtiJsZ2pvTxxK4X19>



締切 2024年1月21日(日)※定員に達し次第申込受付を締め切ります。
参加決定 申し込みをお受けできない場合、その旨を御連絡いたします。
注意事項 本研修は日本社会福祉士会生涯研修制度の単位にはなりません。

(お問い合わせ先) 公益社団法人埼玉県社会福祉士会 事務局

電話 048-857-1717 E-mail c-info@saitama1717csw.jp

(研修会当日の連絡先)080-4624-8106